

読みきかせサークルもこもこ 子ども文庫購入費の助成を受ける



このほど「読みきかせサークルもこもこ」が公益財団法人伊藤忠記念財団から読み聞かせなどに使用する大型絵本などの購入費として30万円の助成を受けました。

伊藤忠記念財団では「子ども文庫助成事業」として、国内外で活動する読書ボランティア団体などへ、助成金や図書セットの贈呈をはじめとした活動を行っており、今年度で42回目となるそうです。

「もこもこ」は、読み聞かせ活動を充実させるために今回応募したもので、応募総数180件の中から幸運にも助成の対象となり、3月3日に東京で行われた贈呈式に出席しました。

今後、助成金を大型えほんやエプロンシアターなどの購入に充てたいとのことで、代表の斉藤和子さんは「子どもたちに読書の喜びを伝える活動を一層強めていきたい」と話していました。

るつぽから金の発見報告も 連続歴史講座開催

3月11日、教育委員会主催の連続講座「ふるさとの歴史を読み解く」の講座2・3をジョイ・じよぐらで開催し、20名が参加しました。講座2では、「勝山館跡の生産関連遺物からわかること」と題し、国立科学博物館の香名貴彦さんが講演。勝山館跡から出土した鍛冶作業に使うつぽに金や銀が付着していたことから、館の中で金や銀を溶かす作



るつぽに付着した金や銀を確認する参加者。右端は、講師の香名さん。

業をしていたことが報告されました。また、講演終了後には、るつぽに付着している金や銀を実際に顕微鏡

で見てもうと、参加者は興味深そうにじっくりと見入っていました。参加者の一人は「るつぽに付着していた金や銀を実際に見ることができてうれしかった」と話していました。また、講座3では「勝山館跡の使われ方」と題し、教育委員会主幹の塚田直哉が講演し、今から6千年前の縄文前期から中期にかけては、字上ノ国や大留が海であったことなどを解説していました。

図書だより

図書新着ごあんない

* しんせかい (芥川賞受賞)	山 下 澄 人 / 著
* 幻庵 (上・下)	百 田 尚 樹 / 著
* サロメ	原 田 マ ハ / 著
* 銀の猫	朝 井 ま か て / 著
* 墨龍賦 (ぼくりゅうふ)	葉 室 麟 / 著
* 桜風堂ものがたり	村 山 早 紀 / 著
* 翼がなくても	中 山 七 里 / 著
* 静かな雨	宮 下 奈 都 / 著
* 錯 迷	堂 場 瞬 一 / 著
* 花を呑む	あさの あつこ / 著
* 不時着する流星たち	小 川 洋 子 / 著
* クラウドガール	金 原 ひとみ / 著
* 白い衝動	呉 勝 浩 / 著

「小さな本の大きなせかい」
2017年 こども読書週間
4/23～5/12



開設時間：(火～金) 9:00～17:00
(土日・祝祭日) 12:00～17:00
休 館 日：毎週月曜日、年末年始
場 所：上ノ国町民図書室 (ジョイ・じよぐら)

男の料理教室行われる



手助けを受けながら調理する参加者



できあがった3品

3月9日、毎年恒例の上ノ国地区生涯学習推進会議主催の男の料理教室がジョイ・じよぐらで開催され、14名が参加しました。

参加者は3班に分かれ大留在住の工藤四海さんの指導のもと、麻婆豆腐など豆腐料理3品を調理し、食生活改善協議会会員の協力を得ながら約一時間ほどで作りました。

完成した料理は全員で食べ比べするなどし、参加者の一人は、「市販の調味液を使わないで美味しくできた」と話していました。